

膵頭十二指腸切除術を受けられる 様へ

説明医師

説明看護師(外来)


































看護師(病棟)

| 月日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 |
|---------|---|--|---|
| 経過 | 入院日 | 当日術前 | 当日術後 |
| 目標 | 心身ともに安定した状態で手術を受けられる 治療に対する不安を表出できる | | 術後合併症を起こさない(出血、深部静脈血栓症、肺炎、 縫合不全、感染、腸閉塞) 合併症予防のためリハビリ(歩行訓練、呼吸訓練)がおこなえる |
| 検査 | 身長、体重測定 採血 | 体重測定 | 採血 レントゲン撮影 |
| 食事 | 夕食後絶食、21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用 | | 絶飲食 水分は医師の指示で再開) |
| 処置・観察 | 朝食は 自宅で | リストバンドを装着 します(退院日まで) 弾性ストッキングの サイズを測定し、 お渡しします 臍処置します (シャワー前) 必要時、糖尿病・内 分泌科の診察が あります | 手術後以下の挿入物、 装着物があります ・酸素マスク ・サンプチューブ ・心電図モニター ・点滴の管 ・背中のチューブ(鎮痛剤) ・創部の管(ドレーン) ・尿道カテーテル ・フットポンプ(血栓予防) 創部を観察、処置を 行います |
| 点滴・内服 | 持参薬、お薬手帳 を看護師にお渡し ください 以下を服用します ・昼→500mlの下剤 ・眠前→下剤 | 手術室で点滴を開始 します(手術が午後 の場合は、病棟で点 滴を開始します) | 以下の点滴を行います ・持続点滴 ・抗菌薬 ・鎮痛剤 ・胃薬 |
| 行動・リハビリ | シャワー浴洗髪を します | 以下の手術準備を します ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリー、 時計等の取り外し | 術後、集中治療室に ベッドで入室します 午前中 全身清拭し、手術着から パジャマに着替えます |
| 説明 | 制限ありません リハビリ科の診察があります | 医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室・集中治療室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について ・集中治療室について 薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について | 翌朝までベッド上 安静です 付き添いのもと、リハビリ を開始します 医師より説明 ・手術結果について 看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・痛み止めの使用方法に ついて |

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

| 月日 | 月 日 | 月 日～ 月 日 | 月 日～ 月 日 | 月 日～ 月 日 | |
|---------|--|-----------|---|--|--|
| 経過 | 術後 2 日目 | 術後 3～4 日目 | 術後 5～10 日目 | 術後 11 日目～退院日 | |
| 目標 | 術後合併症を起こさない（出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞） 合併症予防のためリハビリ（歩行訓練、呼吸訓練）がおこなえる | | | | |
| 検査 |  3 日目・5 日目・7 日目・必要時 採血  レントゲン撮影 ・体重測定  | | | | |
| 食事 |  3 日目 朝から 分割食 1 度（流動食）開始 | | 7 日目 朝から 分割食 2 度（5 分粥食） 11 日目 朝から 分割食 3 度（全粥食） | | |
| |    | |       | | |
| 処置・観察 | 以下の挿入物があります ・点滴の管 → 点滴が不要となれば抜去します ・背中のチューブ（鎮痛剤）→ 術後 2～3 日で抜去します ・創部の管（ドレーン）→ 術後 4～5 日程度で抜去します ・尿道カテーテル → 術後 2～3 日で抜去します  創部を観察、処置を行います  | | | 退院時にリストバンドを外します | |
| |  状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります | | | | |
| 点滴・内服 |  以下の点滴を行います ・持続点滴  6～7 日目・朝、夕点滴 ・抗菌薬  ・鎮痛剤  ・胃薬  | |  以下を内服します ・鎮痛剤  ・胃薬  | | |
| |  状況に合わせて、全身清拭、洗髪、足浴を行います  尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます | |  創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します （週 3 回、病棟毎日が異なります） | | |
| 行動・リハビリ |  リハビリを継続します | | |  （退院日） 朝食後退院です | |
| 説明 |  栄養士より説明 ・分割食について | |  主治医より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について（退院療養計画書をお渡しします）  栄養士より説明 ・退院後の食事について | | |

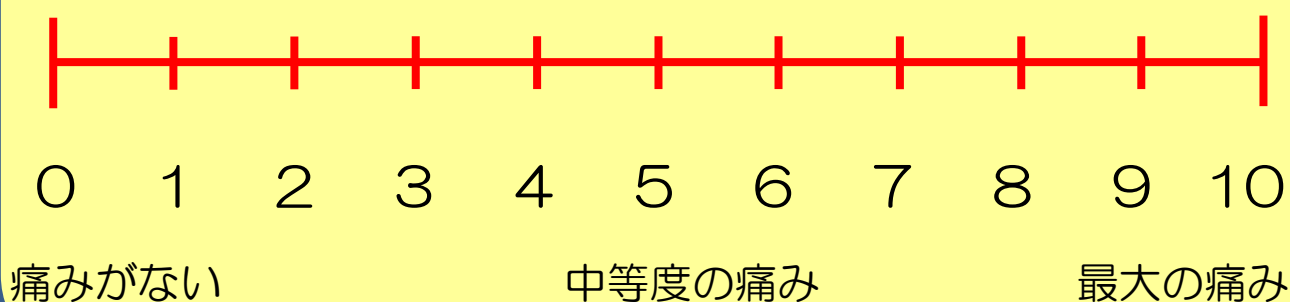
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

 **手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしく申し上げます。

